

# SAIL 'O' 通信 NO. 64

## 大阪帆船と国際交流の会

Sail And International Link of Osaka

編集責任者 北村・辻村 2017年1月15日発行

### 会報目次

1. ボランティアレポート、他
  - ① 客船歓迎ボランティア
    - 1) セブンシーズ・ボイジャー (2016年3月9日)
    - 2) アザマラクエスト (2016年3月16日～18日)
    - 3) クイーンエリザベス (2016年3月22日)
    - 4) シルバー・シャドー (2016年10月6日)
  - ② 市民ボランティア
    - 1) 大阪マラソンでのボランティア
    - 2) 菱垣廻船復元ボランティア
2. 旅行記・イベント参加報告
  - ① セイリングボート
    - 1) 『サザンクロススの夢航海2016』: 五島列島九州一周航海
  - ② イベント参加報告
    - 1) フィエスタメヒカーナ
  - ③ 会員近況
    - 1) 長崎に住んで
3. その他、情報
  - ① 平成28年度総会のご案内
  - ② 大阪帆船と国際交流の会20周年記念事業

### 記事本文

1. ボランティアレポート
  - ① 客船歓迎ボランティア

#### 1) セブンシーズ・ボイジャー (2016年3月9日)

・総トン数: 42,363トン ・国籍: パナマ ・参加者: 10名

◎あいにくの雨。私自身、前日の疲れが残り11時過ぎに天保山岸壁に到着した。今年初めての客船歓迎ボランティアで懐かしい人たちとの再会を喜ぶ。活動で使用できる場所が制限され、インフォメーションと隣り合わせでお弁当広場のうちの1/4という狭さ。雨のため、お弁当広場に来てお弁当を広げる小学生、保育園児の団体が多く、この狭さでも納得できるし、無理は言えない。殆どの乗船客はバスで近隣観光へ。乗組員達も隣接するブースでWi-Fiに一生懸命。私たちが会場を設営した後も見向きもしていない。とにかく、看板を効果的に配置したり、トライしてみるよう勧誘に回ったりする。一人がトライすると、人の心理とし



て、自分もトライしてみようという気持ちになる。いつも同じパターンでそれからは自分の和装姿に喜び、続いて来場する。乗船客よりも乗組員が主であるがこれも歓迎の一端である。16時過ぎまで賑わう。やはり、きっかけが必要だと思う。来るのを待つのではなく積極的に勧誘しなければと今回も思う。次回も多くのセイルオーのメンバーに会えるのが楽しみです。

## 2) アザマラクエスト (2016年3月16日~18日)

・総トン数：30,277トン ・国籍：マルタ ・参加者：9名

◎16日。9時前に3人が揃い設営をしようとする、突然、ストップがかかった。船側から避難訓練を行うとの通知があったとの説明。仕方なく待つ。10時を過ぎて連絡が無く時間が過ぎる。何度も港湾局や振興協会の方々に問い合わせるがもう少し待つとの指示。10時半になり横断幕を張り終えたときに大勢の乗組員が下船して来て会場が一杯になる。11時頃から30分くらい点呼をとっていたようで、順次、船に戻って行き訓練が終わる。来客を待つが、来られない。手持無沙汰。昼過ぎ、何人かが来るようになり、それから来客が続く。今回、大西さんの友人から多くの出品があり久しぶりにバザーを開く。次のQE2にも残して置きたと思う。始めにハプニングもあったが、とにかく、笑顔で対応し、参加者も楽しみ、無事に終わることができた。

◎18日。3日間の停泊。昨日は乗船客の入れ替えがあった模様。乗船客のブースへの立ち寄りが少ないように思う。早く設営できたため、10時の活動開始と同時に勧誘を行う。しかし、近くにいる人達はWi-Fiに夢中。バスで多くの乗船客が出て行っており、近辺を観光する乗船客を待つしかない。そのうち、何組かの夫婦が着付けに来られ、その時だけは賑わう。夕刻の出港と聞いていたので打ち合わせの通り15時に終了する。次回3月22日のQE2の時には多彩な行事が企画されている。乗船客を笑顔で迎えよう。そして自分たちも楽しもうと言って活動を終わる。

## 3) クイーンエリザベス (2016年3月22日)

・総トン数：90,901トン ・国籍：バーミューダ ・参加者：16名

◎好天に恵まれ、船のネームバリューと前日からのPRもあり、大勢の市民が天保山岸壁に詰めかけた。菱垣廻船の引航もあり、クイーンエリザベスと菱垣廻船のコントラストが岸壁に揃う。8時の着岸と同時に乗船客がインフォメーションに詰めかけてくる。とにかく、早く設営するために、倉庫から資材を搬出する。(この時に入域許可書を紛失したようだが、昼過ぎまでそのことに気付かず、一応、受付に届けた後、倉庫の内で見つかりやれやれということもあった。)9時過ぎには参加者も集まり始め、準備もでき、オープン待ち。ミーティングの際に明るく笑顔で対応し、なお自分たちも楽しむことを告げる。10時開催。着付けも呈茶もバザーも盛況。呈茶では対応に追われ、途中で茶菓子を追加することにも。着付けではゴザの上に3人も上がることも。終了までの時間が早く感じられる。久しぶりの事。15時マーケットプレースの3階では歓迎式典と鏡割りが行われ、多くの人達で溢れている。16時過ぎに活動を終え、岸壁に出た。扇町のプラスバンド部が演奏している。マーケットプレースのテラスにいる多くの観客が聞いている。今日は一日中、天保山界隈は多くの人で賑わった。やれやれ、春の客船ボランティアも盛況のうちに終わった。参加された会員の方々、お疲れ様でした。 (以上、3件吉田さん)

## 4) シルバー・シャドー (2016年10月6日)



・総トン数：28,258トン ・国籍：パナマ ・参加者：14名

◎前日に振興協会から呈茶と着付けの活動を屋外で行って欲しい旨の依頼があり、マーケットプレースの階段横のスペースに会場を設営した。少し風はあったが天気は良く活動自体には支障はなかったが、残念ながら、ごくわずかの来場者で終わった。インフォメーションブースやWi-Fiブースから離れていること、船から見える場所であることで、乗船客や乗組員の目が気になりトライしてみようという気持ちが薄れてしまうことが原因と思う。客船ボランティア活動が3月のクイーンエリザベス以来であったため多くの方に参加していただきました。やはり、屋内で呈茶や着付けを行い、バザーなども併せた活動にしていきたい。

(中路さん)

## ② 市民ボランティア

### 1) 大阪マラソンでのボランティア活動

◎2016年5月13日、団体ボランティア参加申込書を大阪マラソンボランティアセンターに郵送しました。昨年は15名でしたが今年は10名での申し込み。7月に団体ボランティア受付の通知が来ました。活動内容は、昨年は給水でしたが、今回は私にとって初めてのコース沿道整備ということでした。10月8日(土)、ボランティアリーダー説明会があり、配置場所は中之島土佐堀ブロック12区で、資料に基づき使用資材の配付方法、設置方法、整理方法の説明を受けました。OMMビルの南側の150m区間の道路南北が担当です。他の区に比べてトイレ誘導やランナー誘導がないので沿道整備に集中できるようです。大阪マラソン開催日前日、現地の下見に行き、隣接区の境界や使用資材の配置場所、侵入防止用のテープの設置場所を確認しました。同時に、道路の横断が規制された時点でボランティアの移動もできなくなるため事前に2グループに振り分けておく必要があることに気が付きました。

翌10月30日(日)、07時30分、沿道チーフ(大阪府職員)から緊急時の連絡方法等の通知説明を受けた後、参加者の確認をし、担当場所に移動。道路南側は吉田さんをチーフに遠藤さん、近藤さん、吉川さん、高橋さんに、道路北側は谷口さん、山畑さん、大西さん、澤さんにお願ひしました。横断歩道に設置する侵入防止用のテープは事前に片方を手すりに固定しておき規制が始まった時点で展張することにし、規制が始まると速やかに設置できるようにしました。9時過ぎに車いすランナーが通過し、9時30分頃に先頭のランナーが通過していきました。その後、続々とそれぞれに工夫を凝らした衣装に身を包んだランナーが道路いっぱいになって通過していきます。幟を掲げて応援する人もいてランナーの妨げにならないよう出し過ぎを注意することもありました。また、応援に来た家族や知人と記念撮影をするため立ち止まるランナーもいます。太陽の動きに合わせて日陰が移動するので体を動かすことがない沿道警備は体が冷えてきて辛い。また、沿道側を向いて観戦者を注視するため、ランナーに声援を送ることができない。それでも、タイムリミットに近いランナーが通過していくときには沿道の観客も少なくなっているので手拍子をとって声援を送り激励しました。車道側立っての沿道整理はランナーと接触することがあったので、ランナーの密度に応じて歩道側に立つなど臨機応変に対応することも必要でした。12時頃、警察官の指示で、テープを解き、後片付けをして活動を終了しました。終了後は弁当や飲み物を調達しキタリシテにて昼食会を開きました。参加された皆様お疲れさま。次回第7回大会は2017年11月26日(日)です。奮って参加しましょう。

(中路さん)



## 2) 菱垣廻船復元ボランティア

### 三分の一菱垣廻船 浪華丸ヒガキくん！復元 2016

#### 第9回え～やん！「天保山まつり」まちなかパレードを振り返って

◎银杏の実が香る港住吉神社の境内は神聖な空気に包まれていた。早朝 8 時、菱垣廻船復元プロジェクトのメンバーが集まる。浪華丸ヒガキくん！いよいよ本番です。お祓い神事のあと幅ぎりぎりの鳥居も無事にくぐり準備完了。

朝早くから多くの観客が集まりお祭りムードのハイテンション。大阪市立築港中学吹奏楽部、生徒さんの先導で隊列 60mのパレードが発進した。ワッショイ！ワッショイ！と力強くロープを曳く子ども達の掛け声。演奏行進が始まると歩道からも声援が飛びます。多くの観客で賑わう天保山へと、ほどなく海遊館まえサンセット広場に到着。

さっそく帆柱を立て展帆。この時、お祭り気分も最高潮！浪華丸ヒガキくんの甲板から撒かれる福餅に大勢の観客が舷側に詰めかけ人の波が押し寄せています。150年前、ここ天保山は多くの「菱垣廻船」が行き交い賑わっていた。白い帆が天を仰ぎ誇らしげな浪華丸ヒガキくんは、このとき江戸期に思いを重ね合わせ見ていたと思います。

さて、三分の一菱垣廻船復元プロジェクト、4回目を迎えた 2016 年。年度も改まり 5 月作業がスタートしました。大阪港開港 150 年を来年にひかえた第 9 回「天保山まつり」、まちなかパレードが私たちの本番。

今回の主な復元箇所は、「矧付」（はぎつけ）と呼ばれる部分。これは菱垣模様の内側にあり、実際の船では海水の浸入を防ぐものだそうです。目立ちませんが復元には大切な部分。更に乗降時の安全性にも一役かっています。

復元の作業は、週末日曜日に大阪市港区築港の港住吉神社が作業場。航海安全や船の守護神が祀られており、神聖な空気が漂うパワースポット。そんな恵まれた場所での作業は、気持ちも引き締まります。今年の夏は酷暑、額から流れる汗を何度も拭く。今回の部材は、藤本木工所さん（港区波除）の計らいにより奈良の吉野杉を格安で提供して頂きました。長さ約 5m、幅約 50 cm、厚み約 40 mm内外が数枚、作業は、これの裁断と製材から始まります。電動カンナで何度も何度も往復し表面を削ります。しばらくすると手と腰が痛くなるので時々交代。耳をつんざくモーター音とともに汗とオガクズが噴き出す。少しづつ部材がカタチになってきた 9 月、製材と平行して、いよいよ曲げ加工に入った。厚さ約 35 mmに製材した部材をカーブがかかった舷側に沿って美しく曲げなければなりません。

真っ直ぐで硬い吉野杉をどうやって美しく曲げる。

今までに経験がない加工で一番の難関でした。しかも 11 月 6 日（日）の本番に間に合うのか？とても心配。まさにチャレンジ。また、場所がら火気は厳禁。そんな中、テクニカルリーダーのアイデアが閃光った。

部材の中心部に湿らせたウエスを置き上からアルミ箔を巻く、その上から家庭用アイロンで熱を加え続けた。そして両端に数十キロの聖なる石をのせ撓らせた状態を保ち数日間放置する。思った以上に手間暇がかかった。作業を登山に例えると製材で五合目まで登り、頂上までが曲げ加工です。

進捗状況を計り 9 月中旬から作業は急ピッチに、毎週日曜日とした。また平日対応ができるスタッフの協力もあり、みんなのチカラで本番を一週間にひかえた 10 月 30 日（日）に作業は完了した。



11月6日(日)当日、晩秋の空、お天気にも恵まれ夕陽がまちを包む頃、浪華丸ヒガキくんは無事、港住吉神社の格納庫へ戻り、第9回天保山まつりのまちなかパレードはお開きに。夜のとばりがおきる頃、菱垣廻船復元プロジェクトのスタッフ達は成功の祝杯を挙げ楽しくグラスを傾けました。

応援して頂きましたすべての皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

セイルオー会員

菱垣廻船復元プロジェクトリーダー 高見昌弘

え～やん！天保山まつり

<http://tempouzan-matsuri.com/>

## 2. 旅行記・イベント参加報告

### ① セイリングボート

#### 1) 『サザンクロス』の夢航海2016: 五島列島九州一周航海

◎ 暗闇の海に一条の光が横切る。2015年初夏、海からお遍路航海の途上、日本の灯台50に選ばれた高松沖の男木島灯台を訪れた。それは映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台でした。その映画主題歌の「放れ小島に南の風が・・・」と歌われている島を訪れたいという思いに駆られ、九州本土から西に150キロ、五島列島福江島の南南西75キロの東シナ海に浮かぶ男女群島女島にととうとう来た。夜が明け絶壁の上に立つ女島灯台の姿が現れ、いくつかの映画のシーンを思い出し灯台守の苦勞を思った。

◎ 今クルーズの第1航程は、岡山牛窓、香川本島、愛媛今治、山口屋代島、宇部、長崎壱岐、平戸に寄港し長崎ハステンボスまでの10日の航海。4月29日07時同乗者の家族に送られて大阪北港を出港。屋代島安下庄港までは平穏な航海で、低気圧通過後の4日06時に出港。祝島を通過したあたりから西風が強まり、白波が立ち、周防灘を真っ直ぐに西に進めない。方向転換を繰り返し何とか日没前に宇部港に到着。港湾案内図を頼りに漁港に入れ、浮桟橋に繋いでいる使用されていない(私が思っただけ)漁船に並べて係留した。18時30分係留完了。商店街入口の焼肉店にて生ビールで無事入港の祝杯を挙げる。クルーズ経験2回目(1回目は1時間の大阪港内クルーズ)の同乗者にはきつい一日でした。

翌5日06時出港。関門海峡を通過し、福岡宗像大島に向かっている時、唐津に入港していた知人のヨット『アトリス』から電話連絡。「低気圧が近づいている。明日の航海は見合わせるようになるから夜遅くなくても壱岐まで行くべし。ビジター桟橋あり。」との助言。寄港地を壱岐郷ノ浦港に変更。壱岐に近づいた頃には日が落ち夜航海に。前日の時化、この日の夜航海と同乗者にとって初めての経験が続く。私にとっても初入港の港での夜間入港に緊張する。パソコンやレーダーの画像と実際の灯台や灯浮標の光で自船の位置を確認しつつ進む。21時無事に浮桟橋に係留。近くにいた漁師さんに確認したところ、「ヨットに係留できる桟橋は西側にある。今晚はこの漁協桟橋に係留していてもいいが、明日朝に移動するように。」とのこと。防波堤の入口を間違えたということ。夕食はワカカ。缶ビールで乾杯。

翌朝、ビジター桟橋を確認し、移動。入口付近には暗礁があり夜間に入港しないでよかったですと安堵する。予報どおりに雨。ワカカで島内一周。2日間入浴していないので、島の北側の勝本港近くの温泉に入浴。夕食は朝採れのウニ丼。美味。

7日06時平戸向け出港。1時間後、エンジンの排気が白色に。エンジンを止め冷却水フ



フィルターを開けると海藻がぎっしり。タラップから潜るが冷却水取入口に詰まっている藻に届かない。セイルを下していても船首の方向に結構な速さで流されている。船首に回り込み、センターボードに掛かっている藻をつかむと、そのまま舵まで流され、きれいに外れた。これで心配なし。缶ビールで乾杯。平戸瀬戸の潮の流れに乗り平戸港に13時に入港。午後は定期観光バスでたまたま田平教会など平戸の教会を巡る。これが五島列島の教会全てを巡るきっかけになる。

翌8日、佐世保湾と大浦湾とをつなぐ針尾瀬戸の憩流時刻に合わせて通峡。12時ハウステンボスヨットハーバーに停泊。夕刻、ヨットクラブの焼肉パーティーに招待され、親交を温めました。

◎クルーズ第2航程は、ハウステンボスから黒島、五島列島中通島、奈留島、小値賀島、野崎島、宇久島に寄港し長崎出島までの9日間の航海。

5月14日08時大村湾を出て再び外海に。翌日は天気崩れるという情報から目的地を小値賀島から中通島に変更。途中黒島に寄り黒島教会堂に参拝し、16時奈良尾港に入港。期待していた銭湯は3月に閉鎖されており残念。夜は地元の元お嬢さんとカラオケ。海からのお遍路航海で一緒だった同乗者からの五島列島にある教会をできるだけ多く巡ろうという提案を受けて、2日間で中通島、若松島、有福島にある頭ヶ島教会堂など30教会をワカで巡る。昼食は五島うどん。

17日06時奈良尾港出港。海からしか見られない隠された若松島のマリア像を拝し、『アトリス』の友人の出迎えを受け奈留島奈留港に入港。彼の案内で奈留島の江上教会など3教会を巡る。安定した天気が続くことから急遽18時奈留港を出港し男女群島に向かう。04時女島に到着。冒頭の記述のとおり。男女群島のいずれの島も絶壁が続き、上陸できそうな場所は見当たらない。今までに見たことのない景観。一回りして五島列島に引き返す。灯台50選の野崎灯台をかわし、福江島の西海岸を北上。嵯峨島(1)に寄港し、18時に奈留港に帰港。24時間のクルーズでした。福江島のワカは福江港にしかなく、また、福江港にはヨットを係留する場所がないということでベースポートを奈留港とする。

19日06時35分のフェリーで福江港に向かう。鬼岳に登り溶岩海岸を眺めながらコンビニ弁当の朝食を食べる。福江島を一周し、堂崎教会堂など13教会を巡る。

20日は福江港経由で久賀島へ。二度と通りたくない細い砂利道の先にある新五輪教会堂、旧五輪教会堂など4教会を巡る。原生の椿林があり開花の季節も賑わうとのこと。福江港に戻り昼食は五島牛ステーキ。

21日06時奈留港出港。若松島、中通島の西海岸を北上し小値賀島(1)に寄港する。幸運にも、東風で野崎島の西海岸にある防波堤に係留でき、ライフジャケットを脱ぐのも忘れ、足早に野首天主堂(1)を参拝。14時宇久島平港のヨットハーバーに係留。ワカイクルを借り、長崎鼻灯台、対馬瀬鼻灯台へ。帰路、黒毛牛が放牧されている。宇久島ではブランド牛になる子牛を生産し出荷しているとのこと。21日06時平港を出港し、15時に長崎出島に入港。夕食は中華街で。五島列島53教会巡りのクルーズが終わりました。

◎クルーズ第3航程は、長崎出島から鹿児島甬島群島上甬島、屋久島、愛媛今治、香川本島に寄港し、小豆島琴塚まで7日間の航海。

28日07時夜行バスで長崎到着。転勤で長崎におられる北村夫妻の案内で今度は長崎の教会を巡る。夕食は『ザンクロス』のクビットで、地元ヨットクラブの方々を含め鍋を囲む。大宴会。

翌29日06時、「北村夫妻が見送りに来ているよ。」という今航程に参加したアルコールを飲み



ない同乗者に起こされる。急遽、小雨の中、出港。お見送りありがとうございました。お蔭様で16時上甕島里港に入港できました。ワカ-を2時間借り、島内観光。天橋立に似た長目の浜や甕大明神の景観は素晴らしかった。

30日00時出港。硫黄島と竹島の間を通過。白波が立つ海面を快調に帆走。15時宮之浦港入港。ホテルの風呂に。夕食はコンビニ弁当。

31日同乗者2人は縄文杉へ。私はもののけ姫の森のイメージといわれている白谷雲水峡へ。途中、縄文杉から降りてきたという若者2人に会う。健脚に関心。夕食は焼肉。力をつけて20時出港。

翌6月1日早朝都井岬。野生の馬は見えなかった。豊後水道を九州東岸の山並みを見ながらひたすら北上。23時九州の東端鶴御崎に達したが、北の向かい風が強まり、翌2日02時愛媛県日振島に取りつく。06時速吸瀬戸を通過、瀬戸内海に入る。北の風は依然として続き四国の沿岸に沿って東に進む。松山城を探すが見物陰になり確認できない。17時今治港入港。今航海最長の500キロ45時間の航海でした。3日は香川栗島に寄り元海員学校を訪ね本島に。

4日は『ザンクロス』の補修整備のため小豆島琴塚の岡本造船に到着、5週間の航海を終えました。今航海でも旧交を温めたり、また新たな出会いもありました。今、懐かしく思い出されます。

(中路さん)

## ② イベント参加報告

### 1) フィエスタメヒカーナ

2016年9月10日、セイルオーのミーティングのあと、初めてフィエスタメヒカーナに行きました。梅田のツウィンターワーの1階で毎年行われているそうです。ステージではゲームや音楽演奏が行われ、会場と一体となって活気に溢れていました。ゲームのお手伝いをされている浅野さんの姿をステージ上に見かけました。バザーで揚げ、ポテトチップスとビールを買い、いっとき、メキシコの風に吹かれました。

(中路さん)

## ③ 会員近況

### 1) 長崎に住んで

昨年4月より転勤で長崎市内に住んでいます。会社事務所が港入口岸壁近くにあるのでほぼ毎日入港する大型客船や、帆船祭りの際には入出港時の帆船なども見る事が出来て抜群の景色です。海辺の町に住み、船の汽笛も聞こえ、魚も旨いし、教会群も美しい素晴らしい環境です。

せつかく海の町に来たのだから、と長崎地元のヨットクラブに入りました。出島ハーバーは普段大型船の入出港が多く波の影響で船体やロープなどが傷つきやすく、地元の方々は少し離れたサンセットマリーナに係留しておられます。僕が所属しているのは「ウェンディ(全長30フィート、全幅3.2mのヤマハY-30CRS)」というクルーザーのグループで、入って早々軍艦島を周遊させてもらいました。ぜひ長崎で小型船舶免許も取ろうと思います。

長崎はヨットレースも盛んで、サンセットマリーナ主催ではクラブレース、船釣りダービー、マリンスポーツ体験学習、オープンヨットレースなどがあり、長崎県セーリング連盟、



長崎県外洋帆走協会主催では軍艦島カップ、帆船まつりヨットレース、五島灘横断レース、小浜・長崎ヨットレースなどがあります。

4月下旬には帆船祭りがあり、日本丸、パラダ、コリアナ、観光丸、ドーントレッダー、みらいへが入港しました。同月発生 of 熊本地震の影響で花火や船内見学が自粛されており誠に残念でした。

5月下旬は中路さん達が出島ハーバーにいらっしゃったのでウエンディの皆さんと一緒にサザンクロスにおじゃまし、楽しいひと時を過ごしました。同じハーバー内には赤提灯を提げた艇もあり、数人でおじゃまして二次会に突入し夜が更けた次第です。

五島列島も美しかった。下五島、上五島と伺いましたが、また行きたいです。8月には精霊流しがあり、さだまさしさんもお母様を亡くされ列に入っておられました。しかし他の舟の皆さんが放つ爆竹の爆音は凄まじいもので、歌のイメージとは全然違いました。

10月は長崎くんちがあり、勇壮なコッコデショはめっちゃめっちゃ恰好良かった。旧正月にはランタンフェスティバルがあります。今年は1月28日～2月11日です。1月27日は大みそかという事で前夜祭もあります。長崎にいらっしゃる際にはお声掛け下さい。都合が合えば一杯やりましょう！  
(北村さん)

### 3. その他情報

#### ① 平成28年度総会開催のお知らせ

日時 : 2017年(平成29年)2月18日(土) 10時から12時まで

場所 : 社会福祉法人大阪ボランティア協会

会議室(大阪府中央区谷町2丁目2-20 2階:谷町筋沿い)

出欠 : 同封の葉書にて2月10日までにご連絡ください。

#### ② 大阪帆船と国際交流の会20周年記念事業

開催日 : 2017年10月29日(日)

開催場所 : 大阪市港区築港

事業内容 : ・実行委員会(委員長土井さん)にて検討を進める。

・事業内容によりそれぞれに会場が設定される。

・企画提案をお待ちします。

編集後記 :

今年も何とか関西に残留です。また、新たな一年、よろしくお願いいたします。(辻村)

長崎を中心に九州の自然、飲食、観光など楽しんでいます。長崎支部としてこれからも情報発信して参ります。よろしくお願いいたします。(北村)